

東北地方 1か月予報

(5月18日から6月17日までの天候見通し)

平成14年5月17日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

天気はおおむね周期的に変わるでしょう。後半は、前線やオホーツク海高気圧の影響で、東北太平洋側を中心に、天気がぐずつく時期があるでしょう。

向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量は平年並、日照時間は、東北日本海側では平年並、東北太平洋側では平年並か少ない見込みです。

週別の気温は、1週目は平年並、2週目は低い、3~4週目は平年並の見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 5月18日(土) ~ 6月17日(月)

1週目 : 5月18日(土) ~ 5月24日(金)

2週目 : 5月25日(土) ~ 5月31日(金)

3~4週目 : 6月 1日(土) ~ 6月14日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日14時30分 次回は5月24日

3か月予報:5月20日(月)14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温, 降水量, 日照時間と1週目, 2週目, 3~4週目の平均気温)

	気温(℃)	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温(℃)		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	15.8	153.2	185.7	14.3	15.2	16.6
新庄	17.0	98.5	182.0	14.9	16.2	17.9
若松	18.2	76.2	193.4	16.1	17.4	19.1
深浦	15.4	102.6	200.6	13.6	14.7	16.3
青森	15.4	78.6	205.3	13.7	14.8	16.2
むつ	14.2	98.6	195.0	12.7	13.6	14.9
八戸	14.9	91.0	198.6	13.6	14.4	15.5
秋田	16.9	111.7	200.3	14.8	16.0	17.9
盛岡	16.4	100.9	183.9	14.5	15.7	17.4
宮古	14.8	100.0	175.2	13.5	14.3	15.4
酒田	17.5	101.9	204.3	15.5	16.7	18.5
山形	18.0	76.4	193.4	16.1	17.3	18.9
仙台	17.0	104.9	175.8	15.5	16.5	17.7
石巻	16.2	89.5	188.3	14.6	15.6	17.0
福島	18.7	82.7	176.6	17.2	18.2	19.5
白河	17.1	129.1	167.5	15.4	16.5	17.9
小名浜	17.0	124.7	181.6	15.6	16.4	17.6

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります。下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(℃)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.3	84~111	94~109
東北日本海側	-0.4~+0.3	81~115	96~108
東北太平洋側	-0.4~+0.3	83~109	93~110

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.5~+0.6	-0.6~+0.6	-0.5~+0.5
東北日本海側	-0.6~+0.6	-0.6~+0.6	-0.6~+0.3
東北太平洋側	-0.5~+0.7	-0.7~+0.7	-0.6~+0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めています(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成14年5月17日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(5月18日~6月17日) :

天気はおおむね周期的に変わるでしょう。後半は、前線やオホーツク海高気圧の影響で、東北太平洋側を中心に天気がぐずつく時期があるでしょう。

平均気温は平年並か低いでしょう。

1週目(5月18日~5月24日) :

期間の初めは低気圧や前線の影響でぐずついた天気となりますが、中頃からは高気圧に覆われおおむね晴れるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(5月25日~5月31日) :

天気はおおむね周期的に変わるでしょう。

平均気温は低いでしょう。

3~4週目(6月1日~6月14日) :

天気はおおむね周期的に変わるでしょう。前線やオホーツク海高気圧の影響で、東北太平洋側を中心に、天気がぐずつく時期があるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

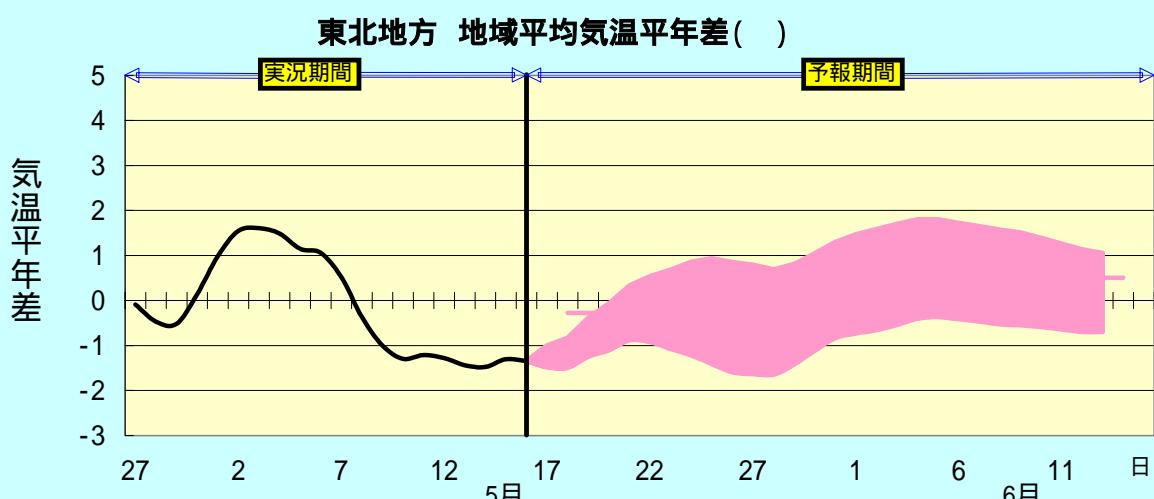
	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	15.8日	3.9日	4.4日	7.5日
東北太平洋側	14.8日	4.0日	4.2日	6.6日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と予測結果

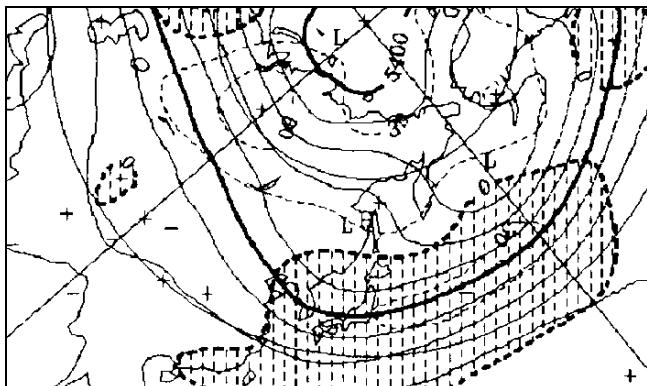
気温は、1週目、2週目、3~4週目ともに「平年並」を予測している。

予報は、その他の資料から2週目を「低い」とする他は、予測どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。



3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



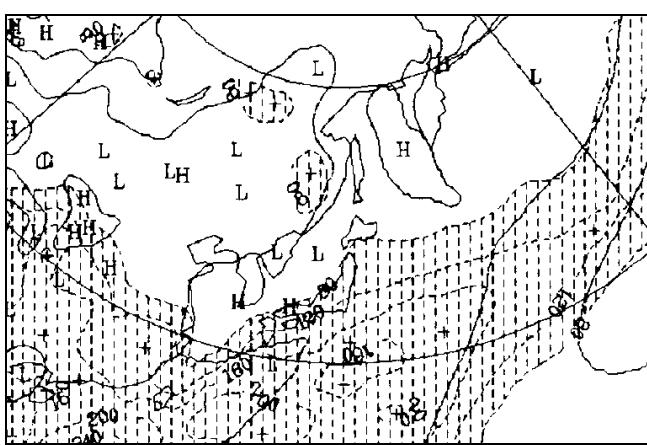
月平均の 500hPa 高度・偏差

等高度線：60m 每、偏差：30m 每、陰影部：負偏差

500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、日本付近から日本の東海上にかけて負偏差。オホーツク海にはオホーツク海高気圧に対応する気圧の尾根が予想される。日本付近は、梅雨期に特徴的な、大気の流れとなる。

週別（図略）では、2週目は、日本付近は負偏差で寒気の影響を受ける時期がある見込み。3~4週目は、月平均とほぼ同様。高度場の偏差は、北日本では小さい。



月平均の地上気圧と降水量

等圧線：4hPa 每、降水量：40mm 每、陰影部：80mm 以上

地上気圧と降水量

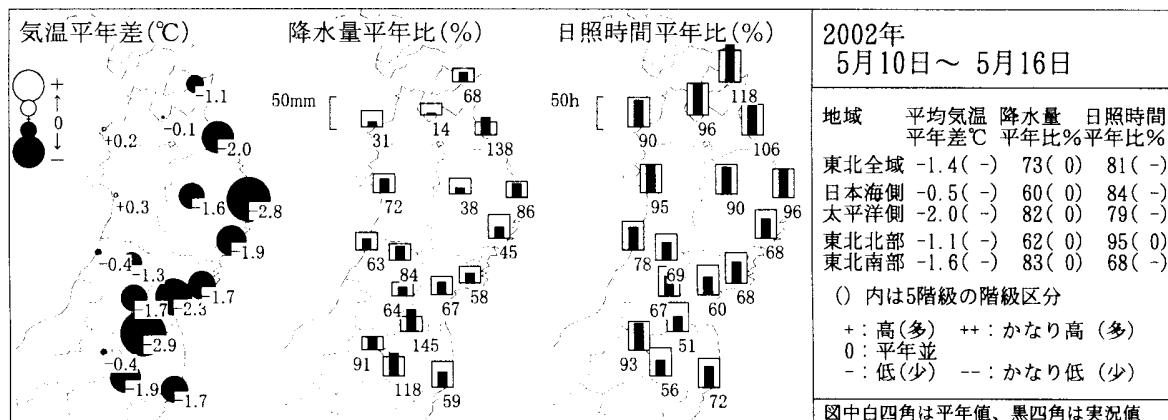
月平均で見ると、オホーツク海高気圧が平年より強い。ほぼ平年の位置に帶状の凝結域があり、北端が東北地方までかかる。

週別（図略）では、2週目はオホーツク海の高気圧が1週目よりやや北に偏る。凝結域は本州南岸まで南下。3~4週目は、地上気圧は月平均と同様北高型。凝結域は東北地方まで北上する。

4. 最近1週間（5月10日～5月16日）の天候の経過

この期間、11日に低気圧が通過し、全域でまとまった降水となった。その後も前線や湿った東よりの風の影響で、東北太平洋側を中心に曇りの天気で、最高気温の低い所があった。後半は、高気圧に覆われ概ね晴れたが、気温は低い所が多かった。

平均気温は、東北地方で平年差-1.4と低かった。降水量は、東北地方で平年比73%と平年並だった。日照時間は、東北北部で平年比95%と平年並、東北南部で平年比68%と少なかった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）